

第4章 郡山城跡の本質的価値

第1節 本質的価値

郡山城跡の本質的価値は、史跡地内を保存活用する様々な取り組みの上での前提となる根幹的な事項である。史跡の本質的価値とは、「史跡に指定された土地に存在する「遺跡」が土地と一体となって有する我が国の歴史上又は学術上の価値」であり、「土地と一体の「遺跡」を構成している枢要の諸要素によって示され」るものである（文化庁文化財部記念物課監修『史跡整備のてびき』）。以後の事業計画は全てこの本質的価値を基礎として検討しなければならない。また、計画の立案や実施にあたり、行政各部署や関係団体、市民が、価値について共通の認識を持つ必要がある。さらに、郡山城跡には廃城後も地域のシンボルとして親しまれ活用されてきた歴史があり、史跡の本質的価値に加えて、その価値から派生した固有の価値も存在している。

そこで、史跡郡山城跡の重層的な歴史に基づく多様な価値について、以下のように整理する。

（1）史跡の本質的価値

①武家政権による畿内統治の支配拠点として整備拡充された城郭

郡山城は、近世を通じて武家による畿内統治の要所として重要な役割を果たした城郭であり、武家社会の実態やその歴史を知る上で高い価値を有している。

郡山城は、天正8（1580）年に筒井順慶が織田信長の命により大和国を治める拠点として築城した。天正13年に豊臣秀吉の弟である豊臣秀長が豊臣政権による畿内統治の重要な拠点のひとつとして大規模に整備し、秀長没後も豊臣政権の要職を担う人物が城主を務めて総構えを完成させた。江戸時代は水野、松平、本多、柳澤といった徳川譜代大名が城主を歴任し、幕藩体制においても畿内統治の一翼を担う重要な城郭として整備拡充された。

丘陵地に立体的に築いた大規模城郭で、城郭中心部からは南都の寺社や奈良盆地を一望できる。京都や大坂につながる諸街道にも近い、畿内統治の拠点として好適地にある。

②豊臣期の城郭を基盤として近世城郭に発展した城郭

郡山城跡は、遺構の変遷過程から、近世城郭の基盤が豊臣期に遡ることを具体的に示す好例であり、近世城郭の成立や発展過程を知る上で高い価値を有している。

郡山城跡は地下遺構が良好に保存されており、発掘調査によって判明した織豊期から江戸時代に至る各時期の遺構より、城郭構造の変遷過程を知ることができる。

本丸を中心に豊臣期の遺構が多く、豊臣期の城郭構造が具体的にわかる資料として貴重である。郡山城は豊臣政権の主要な拠点のひとつであり、大坂城や聚楽第といった政権の主要な城郭の多くが後世の破壊や改変によって実態がわからない中、豊臣政権による城郭政策の実態に迫ることができる城跡として、特に貴重である。江戸時代の遺構もよく残っており、遺構の変遷過程から、江戸時代の城郭が豊臣期の大規模城郭を大きく改変せずに整備されたことがわかる。

③城郭石垣構築技術の変遷を伝える石垣が残る城郭

郡山城跡は、石垣の構造や技法を検証することで、近世を通じた城郭石垣の特徴や土木技術の変遷過程を知ることができる点で、高い価値を有している。

郡山城には大部分に石垣が築かれ、その多くが廃城時の状態を保ったまま現存している。

本丸の石垣は、特に規模が大きく、豊臣期に構築された部分も多い。石仏や寺院の礎石などを転用した石材を多く用いる点も特徴的である。秀長の築城時に奈良中から石材を徴収した記録が

あり、転用石材の多くはこの頃搬入されたとみられる。この規模で転用石材を多用する石垣は全国的にも稀有で、初期の城郭石垣構築技術を知る上で非常に貴重である。

本丸外周の曲輪群には、近世を通じて整備改修された石垣がある。こうした多様な石垣は、近世における整備状況の実態を伝える重要な資料である。

④豊富な考古遺物や史料と遺構の変遷過程が対比できる城郭

郡山城跡は、考古遺物や絵図・文献史料から城郭遺構の変遷を具体的に対比することが可能である点で、高い価値を有している。

郡山城跡からは城郭に関わる遺物が多量に出土する。特に瓦は豊臣期の資料が充実し、大坂城や聚楽第など豊臣政権の主要な城郭との同范関係が確認できる資料が多い。本丸や二ノ丸など中枢部の曲輪では金箔瓦も出土し、豊臣期の城郭建築の実態に迫ることもできる。歴代城主の家紋瓦も充実している。法隆寺等の大和国の大寺院と同范関係が確認できる瓦も多く、城郭整備と在地における瓦の生産・流通体制との関わりを検討することも可能である。

城絵図も豊富で、城郭遺構の変遷を絵図と対比することが可能である。藩政史料も豊富で、武家による政策の発展が及ぼす城郭構造への影響を検証することも可能である。

⑤現代の都市の礎となった城郭

郡山城跡は、遺構の変遷過程から近・現代における都市の成立過程に迫ることが可能であり、近世から現代までの長期にわたる社会の構造を反映する城跡として高い価値を有している。

郡山城の堀や町割り、水系は、廃城後も城郭機能時の構成をほぼ保ったまま近代化が進み、現代の都市に発展した。城郭構造の名残は現在も総構え内の各所で見ることができ、中心部の曲輪群はもちろん、旧城下町や旧武家屋敷地、外堀の付近でも、大部分が近世の城絵図に描かれた構造のまま都市として機能している。織豊期に基盤が整い江戸時代を通じて整備拡充された城郭が、近代以降は都市の礎として継承され、今日も都市の発展を支えている。

(2) 本質的価値に準ずる価値

①地域のシンボルとして親しまれる、憩いの空間

郡山城跡と一体的な景観として形成された植栽は、城跡が地域のシンボルへと成長する活用の歴史を伝える要素であり、史跡の本質的価値に準ずる価値と評価できる。

郡山城は廃城後に一部が地域に開放され、地域のシンボルとして市民に親しまれてきた。都市公園として整備が進んだ市民の憩いの場でもあり、年間を通じて多くの祭りが催される賑わいの中核としても、多くの市民に利用されてきた。「日本さくら名所100選」に選ばれた桜や、市の樹木である黒松など、地域の活用とともに城郭遺構と一体的に形成されてきた豊かな植栽は、親しみある城跡の景観として市民の意識に深く根付き、今や城郭と不可分な要素となっている。

②城跡と地域との営みを象徴する歴史遺産

郡山城跡の近代建築や再建城郭建築は、近代以降の市民による城跡活用の歴史を伝える歴史遺産であり、史跡の本質的価値に準ずる価値と評価できる。

郡山城は廃城後、神社や学校、地方史誌専門図書館、公園など、地域住民の営みと関わりが深い施設がつくられた。柳澤神社本殿や柳沢文庫本館のような近代建築は、廃城後の城郭活用の歴史を伝える貴重な歴史遺産である。城跡内に移築された旧奈良県立図書館は、奈良県指定の近代和風建築で、「城址会館」の愛称で城跡と一体的に市民に活用され親しまれてきた。櫓や門、橋などの再建城郭建築は、市民が主体となり、郡山城跡の象徴として建造された。これらは郡山城跡の顔として、市民の意識に深く根付き、城郭と不可分な要素となっている。

第2節 地区の設定

(1) 計画地の地区区分

本計画の計画範囲は第1章第2節で整理したように、城郭中心部に総構えまでを加えた範囲である。そこで、計画地について、歴史的または地理的背景を基にして、図4-1に示すとおり地区を区分する。中心曲輪地区と外郭地区に大きく2分し、さらに5つの地区に細分する。

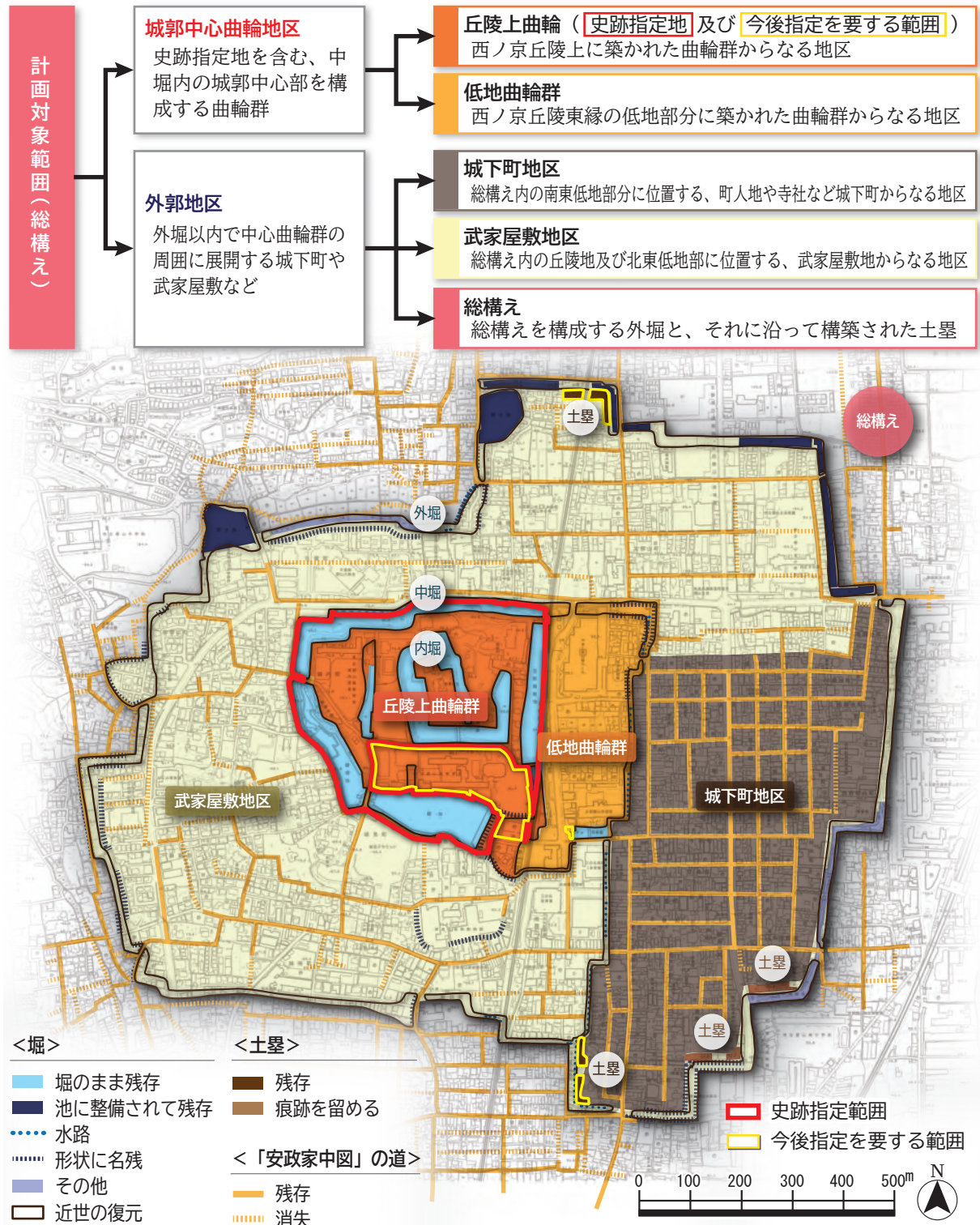


図4-1 計画地の地区区分

(S=1/12,000)

(2) 史跡指定地の地区区分

史跡指定地について、城郭の構造を基準に、一部は廃城後の改変を考慮して、図4-2に示すとおり、地区を区分する。本丸、東部曲輪群、西部曲輪群、内堀、中堀、通路跡に大きく区分し、それぞれ曲輪に準拠して細分する。

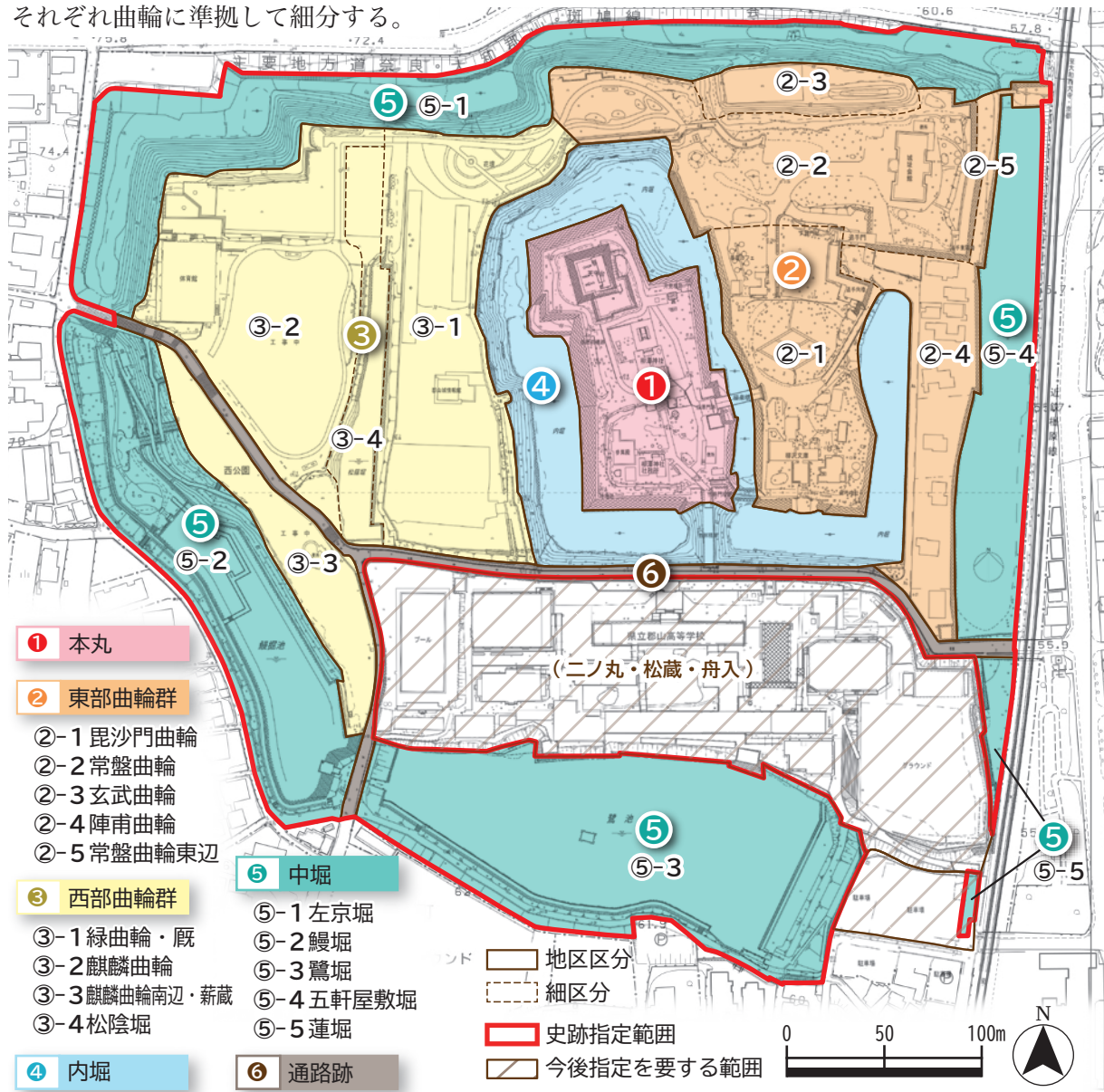


図4-2 史跡指定地の地区区分

(S=1/3,500)

①本丸

城郭中心部の最も中央に位置する曲輪。

②東部曲輪群

本丸の東に位置する曲輪群。東に向かって次第に標高を減じる。毘沙門曲輪、常盤曲輪、玄武曲輪、陣甬曲輪、常盤曲輪東辺（常盤曲輪東辺の帯曲輪から桜門につながる堤まで）に細分する。

③西部曲輪群

本丸の西に位置する曲輪群。本丸と同等の高い標高にある。緑曲輪・厩、麒麟曲輪、麒麟曲輪南辺・薪蔵（現在の道路で分断された麒麟曲輪の南辺部と、城内通路および薪蔵）、松陰堀（廃城後に埋め立てられた部分を含む）に細分する。

④内堀

本丸と毘沙門曲輪を囲繞する堀。

⑤中堀

中心曲輪群を囲繞する堀。左京堀、鰻堀、鷺堀、五軒屋敷堀、蓮堀に細分する。

⑥通路跡

城内の通路に由来し、現在道路となっている範囲。

第3節 構成要素の特定

(1) 構成要素の区分と特定

史跡の保存と活用にあたっては、本質的価値を構成する要素を具体的に把握する必要がある。そこで、史跡指定地内の構成要素について表 4-1 のとおり整理する。

また、本計画地内で史跡指定地外となる城下町や武家屋敷地、総構えの構成要素についても、史跡指定地に準じて表 4-2 に示すとおりに整理する。

表 4-1 史跡指定地内の構成要素一覧

価値	構成する要素	性格	具体例	方向性
本質的価値	本質的価値を構成する要素	縄張り遺構	史跡地と一体となり本質的価値を構成する	調査研究を行う 適切に保存する 活用を図る
		遺物	曲輪群 石垣、土坡、堀など 建物礎石、埋没石垣など地下遺構 土器、瓦など城郭機能時の様相を示す遺物	
		環境	地形	
		史料	城郭に直接関わる絵図・古文書	
		史料	史跡地と分離されるが、本質的価値を構成する	
本質的価値に関連する価値	本質的価値に準ずる価値を構成する要素	建造物など	史跡地と一体となり歴史的経緯を構成する	調査研究を行う 適切に管理・保存する 活用を図る
		遺構	指定建造物(旧奈良県立図書館)、近代建築、再建城郭建築	調査研究を行う 適切に保存する 活用を図る
		遺物	養魚施設跡、神社など近代建築に伴う地下遺構、築城以前の様相を示す地下遺構	
		環境	城郭機能時の前後の時期に属する遺物	適切に維持管理する 活用を図る
		史料	桜、松など城跡活用の歴史を伝える植栽	
	保存・活用に有効な要素	保存管理・活用のための施設	近代以降の絵図、文書絵葉書など	調査研究を行う 適切に保存する 活用を図る
			史跡説明サイン、柵、階段、史跡内照明、施設案内板、城内通路、展望施設、排水施設、石垣ライトアップ照明、電気・水道など地下埋設管、トイレ、史跡ガイダンス施設、城郭に関する石碑、史跡以外の文化財説明サイン、管理施設、防災・防犯関連施設	保存・活用のために維持更新・整備を行う
			都市公園として整備された施設	
			曲輪などの説明サイン、ベンチ、四阿、園路	
		近代以降の活用に伴う施設	神社関連施設、柳沢文庫（番屋カフェ含む）関連施設	保存や活用に影響がないよう、適切に維持管理する
		憩いの場として整備された環境	都市公園整備事業に伴い整備された植栽 極楽橋周辺整備事業に伴い整備された植栽	適切に維持管理する

その他の価値	構成する要素	史跡の保存活用に直接必要のないもの、または史跡になじまないもの	上記以外の施設	個人住宅 石碑(史跡に直接関係しないもの) 旧学校施設 遊具 祠(史跡に直接関係しないもの)	保存や活用に影響がないよう適切に管理し、長期的には整理や移設を検討する
			上記以外の環境	未整備の自然植生	保存・活用のために計画的に整備する
上記以外			道路関連	道路、道路関連工作物(道路標識、カーブミラー、反射板、歩車分離帯など)	

表 4-2 史跡指定地外の構成要素一覧

価値	構成する要素		性格		具体例	方向性
本質的価値	本質的価値を構成する要素	城郭中心部を構成するもの	縄張	史跡地と一体となり本質的価値を構成する	曲輪	調査研究を行う 適切に保存する 活用を図る 追加指定を目指す
			遺構		石垣、土坡、堀など	
			遺物		建物礎石、埋没石垣など地下遺構	
					土器、瓦など城郭機能時の様相を示す遺物	
			史料	史跡地と分離されるが、本質的価値を構成する	城郭に直接関わる絵図・古文書	調査研究を行う 適切に保存する 活用を図る
		総構え内の城郭を構成するもの	町割	史跡地と一体となり本質的価値を構成する	町割、排水系	適切な調査を行い、適切な方法で保存や活用を図る
			遺構		堀、土塁など	
			社寺		建物礎石など地下遺構	
					近世からつづく社寺	
			遺物	土器、瓦など城郭機能時の様相を示す遺物		
史料	史跡地と分離されるが、本質的価値を構成する	城郭に直接関わる古文書など				
本質的価値に関連する価値	本質的価値に関連する要素	近世の城郭に由来を持つ施設など、史跡の歴史的重層性を示すもの	建造物	史跡地と一体となり歴史的経緯を構成する	近世城下町の町割りに即して現存する近代建築	適切な調査を行い、適切な方法で保存や活用を図る
			遺構		城郭形成以前の歴史を示す地下遺構	
			遺物		城郭機能時の前後の時期に属する遺物	
			環境		松など城跡活用の歴史を伝える植栽	
			史料	史跡地と分離されるが、歴史的経緯を構成する	近代以降の写真、文書、絵葉書など	適切な調査を行い、適切な方法で保存や活用を図る
	有効な要素に	史跡の保存・活用に資するもの	保存・活用のための施設	城郭に関わる解説サイン 城下の通路に関わる道標 誘導サイン	観光案内所 堀跡の緑地 整備して公開している町家	活用を図るため、維持更新・整備を行う
			旧城下の賑わいのための施設			
	その他の価値	その他の価値を構成する要素	史跡の保存活用に直接必要のないもの、または史跡になじまないもの	上記以外の施設	現代の施設や建物 電車軌道 城郭に由来しない街路	保存や活用に影響がないように適切に維持管理を行う

(2) 史跡指定地の構成諸要素

史跡指定地内の構成諸要素について、地区区分に従って図 4-3 ～ 4-8 のとおりに整理する。なお、史跡指定地外だが、遺構が良好に現存していて重要な曲輪である二ノ丸についても、指定地に準拠して構成要素を整理する。

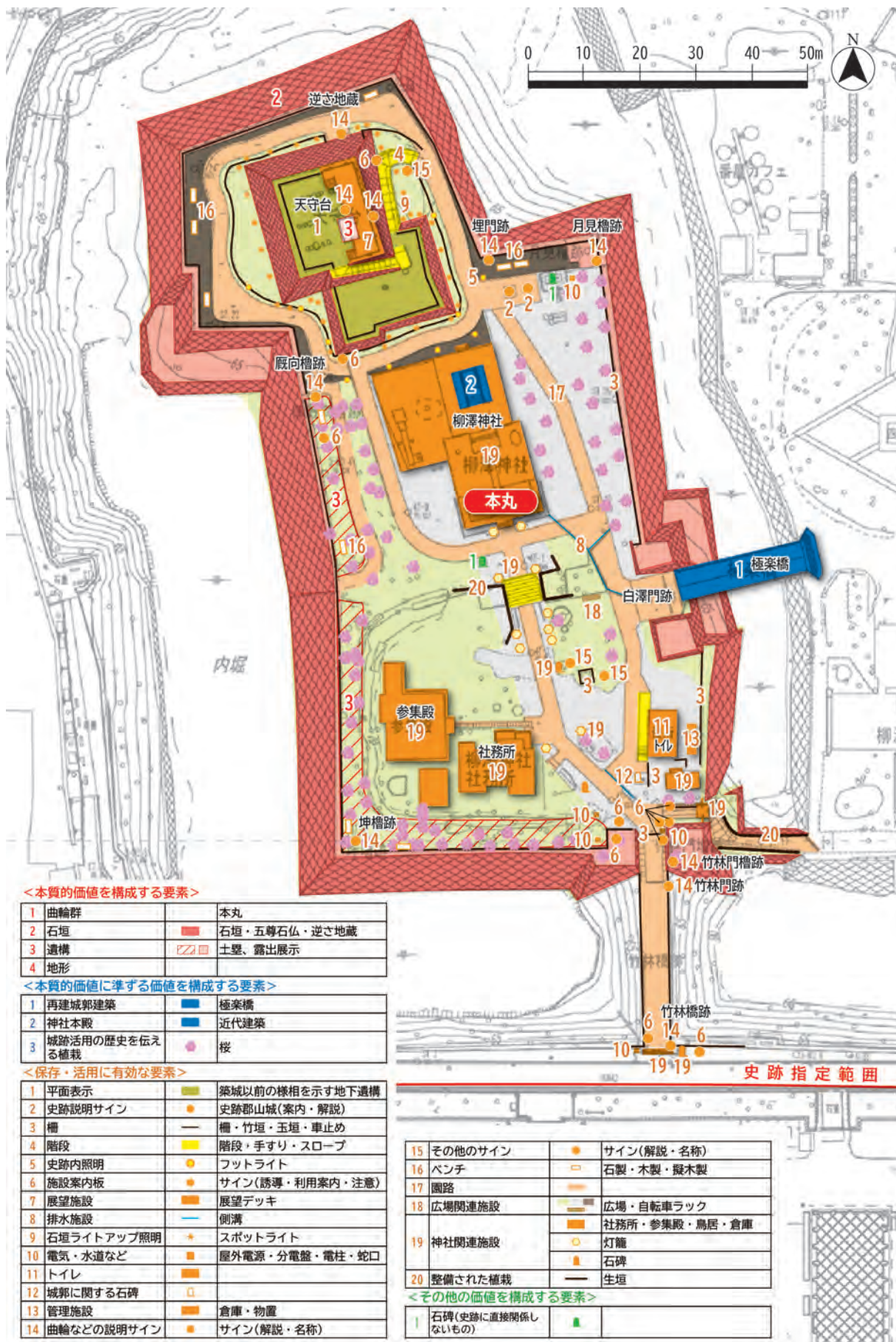


図 4-3 ①本丸の構成諸要素

(S=1/1,000)



No. 1: 曲輪群 / No. 2: 石垣



No. 3: 桜



No. 3: 柵 (金属製)



No. 3: 車止め



No. 6: サイン (注意)



No. 10: 分電盤



No. 14: 曲輪などの説明サイン



No. 14: (名称)

No. 14: (名称)



No. 3: 遺構 (露出展示)



No. 1: 平面表示



No. 3: 柵 (上: 擬木製 / 下: ロープ柵)



No. 4: 階段・手すり



No. 7: 展望デッキ



No. 11: トイレ



No. 14: (解説)

No. 14: (名称)



No. 1: 極楽橋



No. 2: 史跡説明サイン



No. 3: 柵 (竹垣)



No. 5: フットライト

No. 6: サイン (誘導)



No. 8: 側溝



No. 12: 城郭に関する石碑



No. 14: (名称)

No. 14: (名称)



No. 16: ベンチ (石製)



No. 2: 神社本殿



No. 2: 史跡説明サイン



No. 3: 柵 (玉垣)



No. 6: サイン (利用案内)



No. 9: スポットライト



No. 13: 管理施設



No. 14: (名称)

No. 14: (名称)



No. 16: ベンチ (擬木製)



No. 17: 園路



No. 17: 園路



No. 17: 園路



No. 18: 自転車ラック



No. 19: 社務所・参集殿



No. 19: 門



No. 19: 鳥居



No. 19: 倉庫



No. 19: 灯籠



No. 19: 狛犬



No. 19: 石碑



No. 19: 石碑



No. 20: 生垣



No. 1: 石碑



No. 1: 石碑



図 4-4 ②東部曲輪群の構成諸要素

(S=1/1,800)



No. 1: 曲輪群 / No. 2: 石垣



No. 3: 池



No. 1: 旧奈良県立図書館



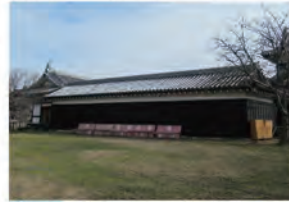
No. 1: 柳沢文庫本館



No. 2: 追手門



No. 2: 追手向櫓



No. 2: 多門櫓



No. 2: 追手東隅櫓



No. 2: 東多聞櫓



No. 2: 多聞櫓堀



No. 2: 多聞櫓堀



No. 3: 桜



No. 4: 池跡・四阿



No. 1: 史跡説明サイン



No. 2: 柵(金属製)



No. 2: (木製) No. 2: (擬木製)



No. 2: 竹柵



No. 3: 外灯 No. 3: 外灯



No. 3: 外灯



No. 3: 外灯 No. 4: サイン(誘導)



No. 4: (利用案内)



No. 4: (掲示)



No. 4: (掲示)



No. 5: 展望デッキ



No. 6: ポンプ小屋



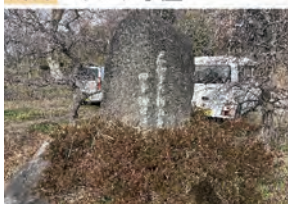
No. 7: キュービクル



No. 7: 換気施設 No. 7: 蛇口



No. 8: 城郭に関する石碑



No. 8: 城郭に関する石碑



No. 9: 史跡以外の文化財説明サイン



No. 10: 倉庫



No. 10: 物置



No. 11: 消火器



No. 11: 非常ベル



No. 11: 消防用水



No. 11: 避雷針



No. 11: 防犯カメラ



No. 12: 曲輪などの解説サイン



No. 12: (解説)



No. 12: (解説)



No. 12: (名称)



No. 12: (名称)



No. 12: (名称)



No. 12: (名称)



No. 13: その他のサイン



No. 13: (解説)



No. 13: (解説)



No. 13: (解説)



No. 14: ベンチ



No. 15: 園路



No. 15: 園路



No. 15: 園路



No. 15: 園路 / No. 16: パーゴラ



No. 16: 広場



No. 17: 番屋カフェ



No. 17: 番屋カフェ



No. 18: 生垣



No. 18: 生垣



No. 2: 石造物群・石塔



No. 2: 石塔



No. 2: 石碑



No. 2: 石碑



No. 2: 石碑



No. 2: 石碑



No. 2: 石碑



No. 2: 石碑



No. 2: 石碑



No. 2: 石碑



No. 3: 祠



No. 3: 祠



No. 4: 灰皿

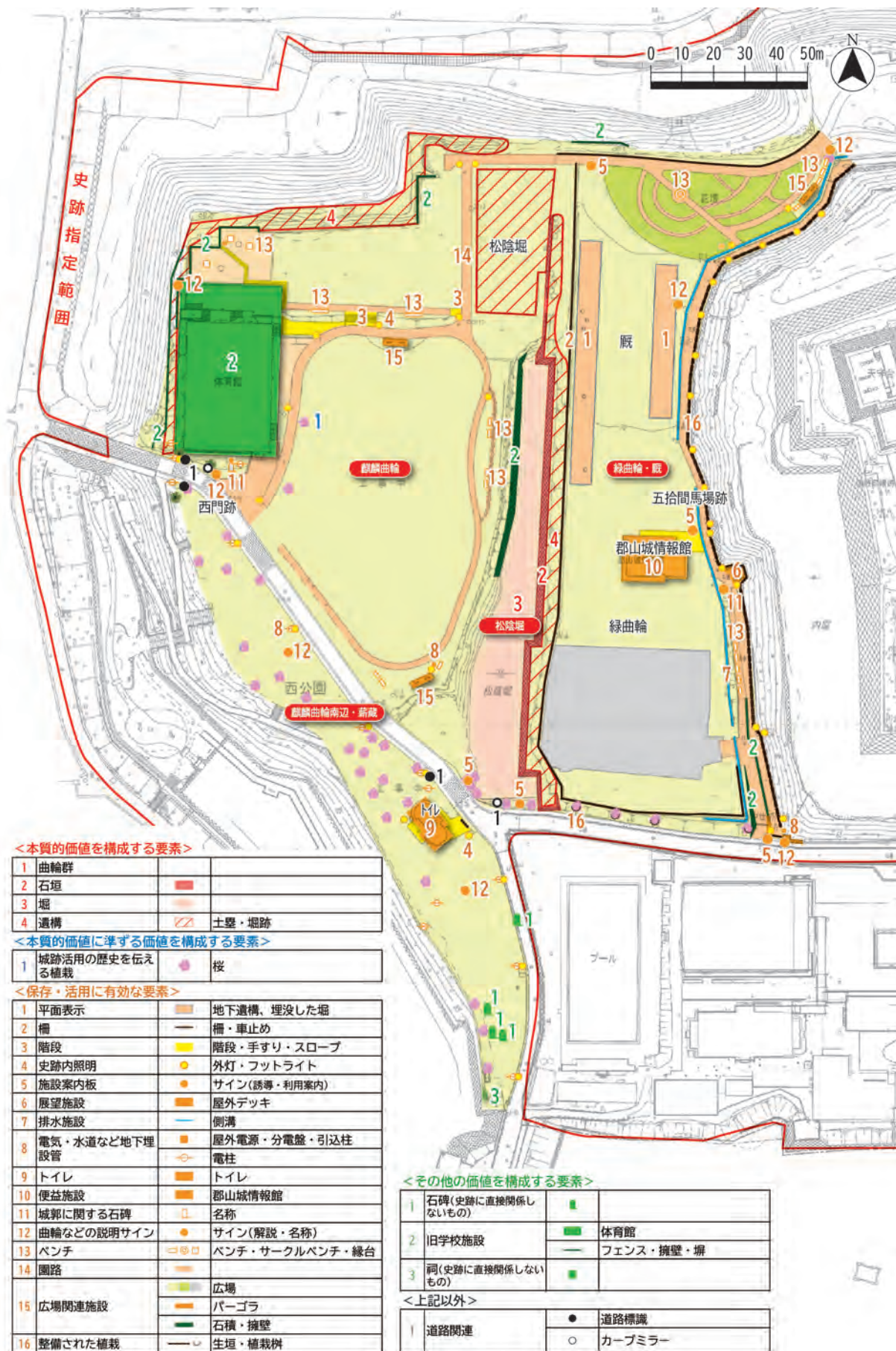


図 4-5 ③西部曲輪群の構成諸要素

(S=1/1,800)
※西公園は令和6年整備中



No. 1 : 曲輪群 / No. 2 : 石垣



No. 1 : 桜



No. 1 : 平面表示



No. 2 : 竹垣



No. 2 : 車止め



No. 2 : 車止め



No. 3 : 階段・手すり



No. 4 : 外灯



No. 4 : 外灯



No. 4 : フットライト



No. 4 : フットライト



No. 5 : 施設案内板



No. 7 : 側溝



No. 8 : 屋外電源



No. 8 : 分電盤



No. 9 : トイレ



No. 10 : 郡山城情報館



No. 11 : 城郭に関する石碑 (名称)



No. 11 : (名称)



No. 11 : (名称)



No. 11 : (名称)



No. 12 : (解説)



No. 12 : 曲輪などの説明サイン (解説)



No. 12 : (解説)



No. 13 : ベンチ



No. 13 : ベンチ



No. 13 : サークルベンチ



No. 14 : 園路



No. 15 : パーゴラ



No. 16 : 生垣・植栽



No. 16 : 植栽樹



No. 1 : 石碑



No. 1 : 石碑



No. 1 : 石碑



No. 2 : 体育館



No. 2 : フェンス



No. 2 : 擁壁



No. 3 : 祠

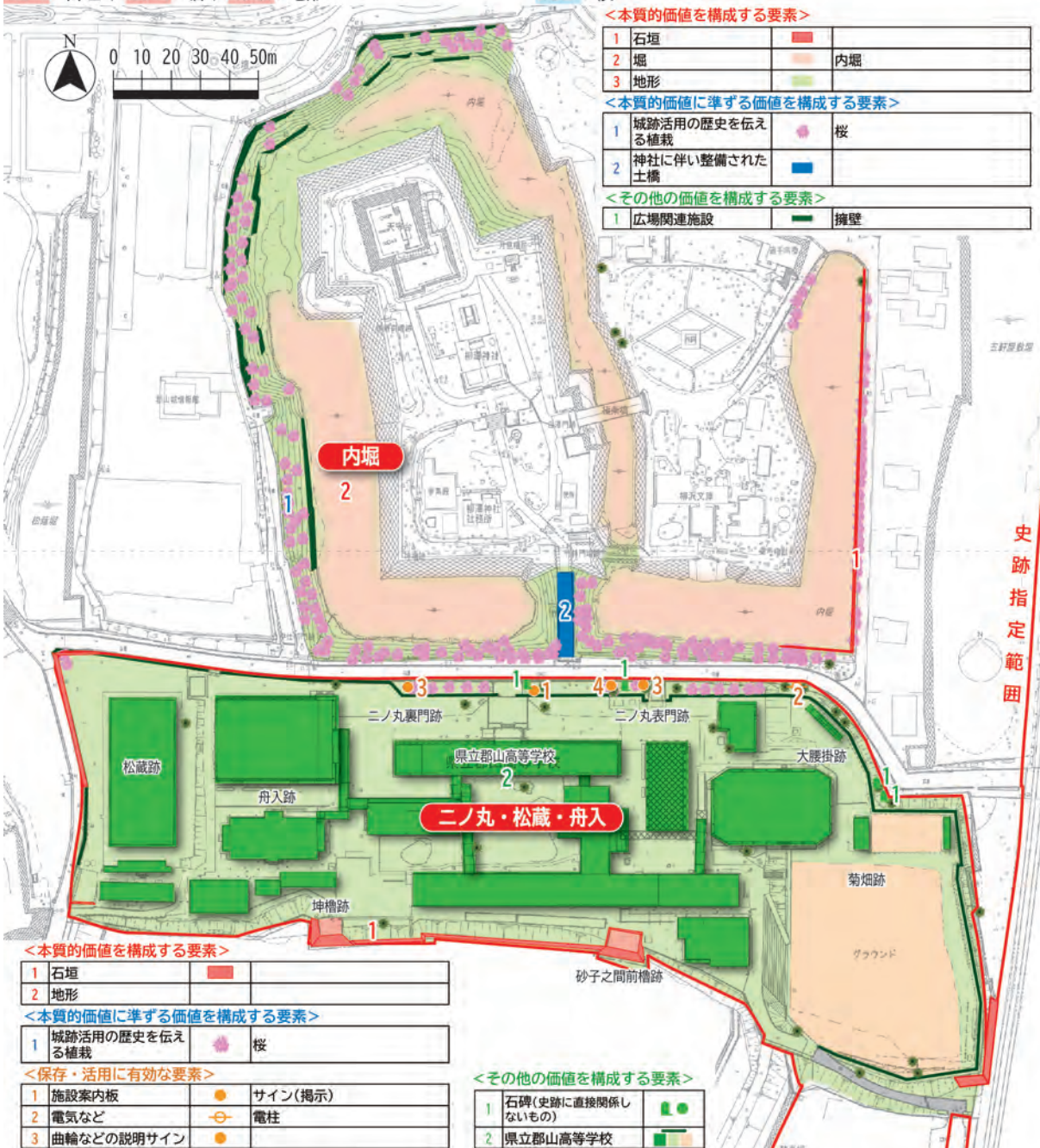
内堀



No. 1: 石垣 / No. 2: 堀 / No. 3: 地形



No. 1: 桜



二ノ丸

図 4-6 ④内堀 / 二ノ丸の構成諸要素

(S=1/2,250)



No. 3: (名称)



No. 1: 石碑



No. 1: 石碑



No. 1: 石碑



No. 1: 石碑



No. 1: 石碑



No. 1: 石碑



No. 1: 標柱



<本質的価値を構成する要素>

1 堀		左京堀・鶯堀・鶯堀・五軒屋敷堀・蓮堀
2 石垣		
3 地形		

<本質的価値に準ずる価値を構成する要素>

1 城跡活用の歴史を伝える植栽		桜
-----------------	--	---

<保存・活用に有効な要素>

1 柵	—	柵・車止め
2 階段	—	
3 史跡内照明	●	外灯・防犯灯
4 施設案内板	●	サイン(利用案内・注意・掲示)
5 排水施設	—	
6 電気など	—	電柱・引込柱
7 管理施設	—	
8 防災関連施設	▲	消防用水
9 曲輪などの説明サイン	●	サイン(解説)
10 その他のサイン	●	サイン(解説)

11 バンチ	□	
12 園路	—	広場
13 広場関連施設	—	親子広場
	—	橋
	—	石積み・擁壁

<その他の価値を構成する要素>

1 石碑(史跡に直接関係しないもの)	■	地藏・石碑
2 自治会掲示板	●	

<上記以外>

1 道路関連	—	道路
	●	道路標識
	○	カーブミラー

図 4-7 ⑤中堀の構成諸要素

(S=1/3,500)



No. 1: 堀 / No. 2: 石垣



No. 1: 堀 / No. 2: 石垣



No. 1: 堀 / No. 2: 石垣



No. 1: 桜



No. 1: 桜



No. 1: 桜



No. 1: 柵 (擬木製)



No. 1: 柵 (擬木製)



No. 1: 柵 (金属製)



No. 1: 柵 (金属製)



No. 2: 階段



No. 3: 外灯

No. 3: 外灯



No. 4: サイン (利用案内)



No. 4: (注意) No. 4: (注意)



No. 6: 電柱



No. 8: 消防用水

No. 9: 曲輪などの説明サイン



No. 10: その他のサイン (解説)



No. 11: ベンチ



No. 11: ベンチ



No. 12: 園路



No. 13: 親水広場



No. 13: 親水広場



No. 13: 橋



No. 13: 石積み



No. 1: 石碑



No. 1: 地藏



No. 2: 自治会掲示板

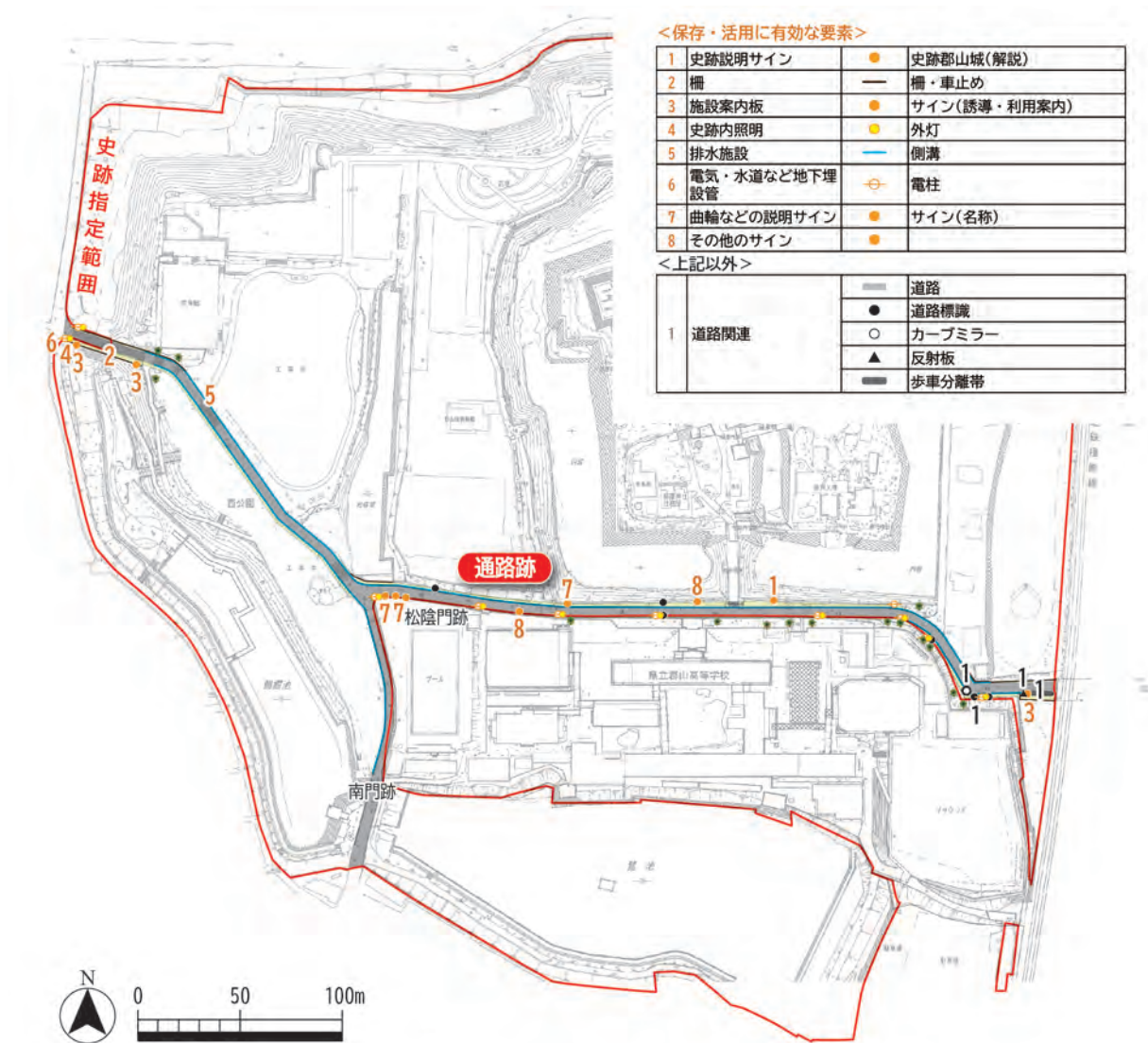


図 4-8 ⑥通路跡の構成諸要素

(S=1/3,500)

